

きれいな海岸を保つために

今年の夏も平戸の海に多くの観光客や家族連れが訪れ、海水浴を楽しんでいます。人がよく訪れる海岸や海水浴場などは、ボランティアや地域の皆さんのおかげで、海洋ごみを気にすることは少ないと思いますが、その他の海岸の護岸や波打ち際には、打ち上げられた海洋ごみが散見されます。

海洋ごみとなったプラスチック類は微細化されマイクロプラスチックとなり、魚などが体内に取り込むことで海洋環境に深刻な影響が出て、いずれ私たち人間に悪影響を及ぼすのではないかと懸念されています。



つまり、私たちがきちんと捨てなかつたごみが海に流れ出たものであると考えられています。また、外国由来のゴミが多く漂着している状況も問題です。国際間での海洋ごみ対策が求められています。ごみ出しルールを守って、海洋ごみの発生抑制対策にご協力をお願いします。

市民課生活環境班 ☎22-9121

# 健康長寿のひけつ

第5回

このたび、平戸市長寿報奨金を受けられた、101歳以上の健康な高齢者に、長生きするためのひけつを聞き、これまでの人生や現在の暮らしを紹介いたします。

問 長寿介護課高齢者支援班 ☎22-9133

## 今回の健康ご長寿さん



みやざき たかじ  
宮崎 孚爾 さん (田平町・101歳)

宮崎さんは、大正12年7月3日に田平町古梶にて、6人兄弟の次男(第5子)として生まれ、幼少期を過ごしました。

19歳のころに出征し、ソロモン諸島などの南方の激戦地で、約1年半を過ごした経歴もあり、日本軍が撤退していくころに、商船を貸し切り、戦闘機からの襲撃に遭いながらも、命からがら日本に帰ってきたと話してくれました。

戦後は平戸に戻り、ミシンのセールスや保険の集金、米や野菜を作って、江迎や鹿町の炭鉱へ行商に行き過ごし、小学校からの同級生であった亡き妻のハナさんと結婚。農

### 平戸市長寿報奨金

100歳を超えてなお、介護サービスを受けることなく在宅で健康に暮らしている高齢者を表彰し、長寿報奨金を支給します。

業を主として生計をたて、3人の子どもを育てました。

現在は、14人の孫、20人のひ孫に恵まれ、週に1回田平大学のカラオケ教室を楽しみにして過ごしています。

昨年まで、車やトラクターを運転していましたが、100歳を機に運転免許証を返納しました。「腰と足が弱ってきて、転倒が増えた」とのことですが、全ての日常生活で自立しています。

農業も今でも現役で、家の前の畑や田の水管理、茶畑の剪定作業や草取りなどをしながら活発に過ごしています。とても101歳とは思えないほど、毎日、元気に暮らしています。



▲農業機械にシートを被せる宮崎さん、今でも茶畑の剪定なども自分でするそうです。



▲101歳の今でも、耕運機で畑を耕しています。



▲黒田市長からお祝いのお花を受け取る宮崎さん。

### 音楽の夏

多くの人にとって、夏といえばビーチ、バーベキューなどですが、私にとっては音楽の季節です。特に大きな音楽フェスの生演奏が楽しみです。私は16歳の頃から音楽フェスに行っています。オランダだけでなく、ヨーロッパのさまざまな国に行きました。ロック、パンク、メタル系の音楽が中心で、ちょっと怖そう、威圧感があると思うかもしれませんが、実際はみんな本当に優しくフレンドリーなんです！

日本のバンドやアーティストも大好きなので、5年前に留学した時に日本の音楽フェスを体験できる機会ができて本当に嬉しくて、京都大作戦とサマーソニックという2

つのフェスに行きました。

ヨーロッパと日本の音楽フェスには多くの違いがあります。まず驚いたのは、日本の音楽フェスは、最後の演奏が大抵午後9時までですが、ヨーロッパでは、午前0時を過ぎます！そして、最後の演奏が終わると、キャンプ場でパーティーが続きます。

今年の夏も音楽フェスに行く予定です。芝生にのんびり座って、冷たい飲み物を飲みながら、素晴らしい音楽を聴くのを楽しんでいます。



国際交流員  
ジョセフィネ・スミット  
(オランダ出身)



文化交流課交流推進班 ☎22-9143